

令和 6 年度

社会福祉普及校活動報告集



社会福祉法人 松本市社会福祉協議会

目 次

【小学校】

① 開智小学校	…P 1	⑩ 岡田小学校	…P 1 2
② 筑摩小学校	…P 2	⑪ 山辺小学校	…P 1 3
③ 田川小学校	…P 3	⑫ 明善小学校	…P 1 4
④ 旭町小学校	…P 4	⑬ 今井小学校	…P 1 5
⑤ 清水小学校	…P 6	⑭ 開明小学校	…P 1 6
⑥ 中山小学校	…P 8	⑮ 並柳小学校	…P 1 8
⑦ 島立小学校	…P 9	⑯ 四賀小学校	…P 1 9
⑧ 芳川小学校	…P 1 0	⑰ 大野川小学校	…P 2 0
⑨ 菅野小学校	…P 1 1	⑱ 奈川小学校	…P 2 1

【中学校】

⑲ 清水中学校	…P 2 2	⑳ 明善中学校	…P 3 1
㉑ 丸ノ内中学校	…P 2 3	㉒ 安曇中学校	…P 3 2
㉓ 旭町中学校	…P 2 4	㉔ 会田中学校	…P 3 3
㉕ 松島中学校	…P 2 5	㉖ 大野川中学校	…P 3 4
㉗ 高綱中学校	…P 2 6	㉘ 奈川中学校	…P 3 5
㉙ 菅野中学校	…P 2 7	㉚ 梓川中学校	…P 3 6
㉛ 筑摩野中学校	…P 2 8	㉜ 波田中学校	…P 3 7
㉝ 女鳥羽中学校	…P 3 0	㉞ 鉢盛中学校	…P 3 8

【盲学校・ろう学校・養護学校】

㉟ 松本盲学校	…P 3 9
㊱ 松本ろう学校	…P 4 1
㊲ 寿台養護学校	…P 4 3

【高等学校】

㊳ 松本県ヶ丘高等学校	…P 4 4
㊴ エクセラン高等学校	…P 4 5
㊵ 松本深志高等学校	…P 4 6
㊶ 松本美須ヶ丘高等学校	…P 4 7
㊷ 信濃むつみ高等学校	…P 4 8

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	開智小学校	学校長名	玉水 智香子
所 在 地	〒390-0876 松本市開智2-4-51 TEL 32-0006 FAX 37-1169	児 童 数	572名
担当教諭名	東城 千郁子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
講演会	11月11日(月)	全校児童を対象に、福祉団体「つなぐ会」代表の奥家さんと、遠山さんを講師に、「ヘルプマーク」についての講演会を行った。外見ではわからない障がいや疾患などを、周囲に知らせることができる「ヘルプマーク」や「ヘルプカード」についてお話をお聞きし、実際の介助の仕方についても実演していただいた。児童は大変関心をもって、話を聞くことができ、児童からは、「これからは街中で困っている人を見たら声をかけ、役に立ってみたい。」という感想を聞くことができた。
児童会の取り組み	11月	児童会なかよし委員会が主催して、全校児童に、「友だちがキラキラしていたこと」や「友だちにありがとう」ということをカードに書いて、模造紙に貼る活動を行った。友だちの良さを改めて意識する活動となった。
姉妹学級交流	11月中旬	児童会仲良し委員会の主催で、姉妹学級合同で、朝の時間にスポーツやレクリエーションを行った。高学年が低学年を思いやる姿が数多く見られた活動となった。

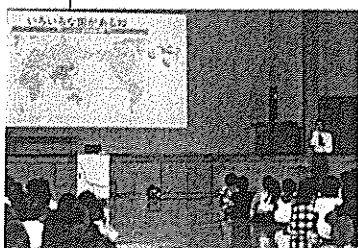
令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	松本市立筑摩小学校	学校長名	五明 佳代
所 在 地	〒390-0821 松本市筑摩1丁目8番1号 TEL0263-25-0090 FAX0263-29-0868	生徒児童数	356名
担当教諭名	浅輪 正愛		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
環境整備 (花を育てる活動)	環境委員会 春～秋	環境委員会の児童を中心に、花壇やプランターに花を咲かせる活動に取り組んだ。当番で水くれや花の摘み取り等の活動に取り組み、校舎周辺の環境を整えることができた。
収集・リサイクル	全校児童 通年	環境委員会の呼びかけで、アルミ缶・ペットボトルキャップ・インクカートリッジの収集を全校で取り組んだ。
「ケ・セラ」の演奏鑑賞	11月 18日 全校	 「NPO 法人ケ・セラ」の演奏を聴くことができた。

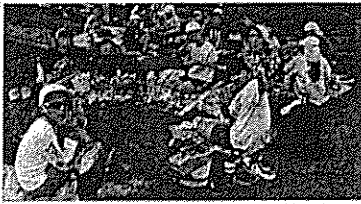
令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

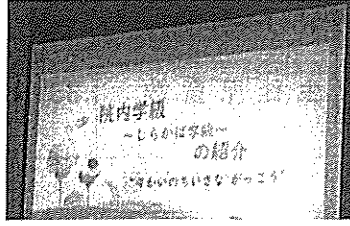
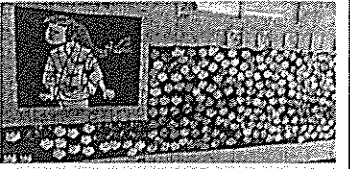
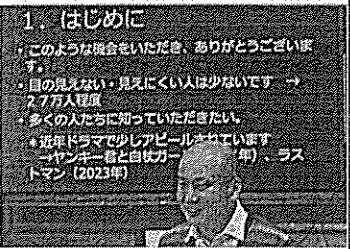
学校名	松本市立田川小学校	学校長名	木村 令子
所在地	〒390-0841 松本市渚1丁目5番34号 Tel: 0263-26-1377 fax: 0263-29-0890	児童生徒数	244名
担当教諭名	長島 奈美		

活動事業名	実施期日・参加人数	活動内容・感想・今後の課題等
人権講演会 	11月6日 3、4校時 全校	NPO法人中信多文化共生ネットワーク 丸山 文さんを講師に迎え、「世界の学校」という演題で講演会を実施。 日本と世界の学校文化の違いについてお聞きした。私達が当たり前と思っていることが当たり前ではないことや、文化の違いがあり、それを受け入れていくことの大切さを学ぶことができた。
性の多様性講座	11月12日 高学年(117名) 11月14日 低学年(127名)	教育研究協議会 白澤章子さんを講師に迎え、「性の多様性講座」を実施。 「自分らしくていいんだよ」という内容で講座を行い、自分らしく生きることと、それを認めていくことの大切さを学んだ。
メディアリテラシー講座	9月27日 4、5年生(79名) 保護者の希望者	子どもとメディア信州の方を招き、メディアリテラシー・情報モラルについての講座を実施。 情報についてどう向き合っていけばいいか考えることができた。
保育園交流	4学年(38名)と園児	4学年児童が近隣の三園との交流学習を実施。 児童が考えた遊びや手作り玩具と一緒に遊び、交流を深めた。
なかよし月間 	11月 全校	児童会を中心に様々な取り組みを行い、自分と相手との違いや良さに気づき、お互いを認め合う意識を高めることができた。 ＜活動内容＞ ・なかよし集会(全校集会) ・なかよしの木 ・名刺交換 ・スマイルランチ(姉妹学級) ・あいさつ運動
収集、リサイクル	通年 全校	児童会の活動として実施 ・ペットボトルキャップ収集を月一回で実施。(代表委員会) ・ベルマーク収集を学期に一回、全家庭に収集袋を配布して実施。(運動委員会) ※協力できる範囲で家庭が収集に協力してくれている。

令和6年度 社会福祉普及校活動報告書

学 校 名	松本市立旭町小学校	学 校 長 名	高野 毅
旭 町 小 学 校	〒390-0802 松本市旭2-4-4 Tel0263(32)1124 fax0263(37)1171	生 徒 児 童 数	339 名
担 当 教 諭 名	堺 幸子	児 童 代 表 名	福島 琴葉

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
交流活動 松本盲学校	通年:全校      	【松本盲学校との交流及び共同学習】 ・5月に盲学校紹介式を行い、盲学校の学校や学習の様子、小学部の一人一人の紹介を行い、今年度の交流をスタートした。 ・1年生と2年生・5年生は、音楽や道徳・社会科などで交流共同学習を行った。 ・5年生の宿泊を伴う行事では、美ヶ原登山や飯盒炊飯を一緒に行った。 ・5年生の花壇・音楽会プロジェクトでは、一緒に活動した。 ・運動会の短距離走に盲学校の児童も参加した。一緒に表現を楽しんだり、応援し合ったりする姿が見られた。 ・盲学校の運動会の前に、校庭の草取りを行った。 ・4年生は、盲学校で鉄線走を体験した。 ・校内音楽会には、盲学校の児童が練習から参加し、一緒にステージに立って演奏をした。 ・盲学校の体育祭へ向けての草取りへ全校が出かけて草取りを行った。 ・1年生と2年生は、盲学校文化祭のリハーサルを見せていただいた。 ・10月になかよし委員会が盲学校に見学に行き、生活の様子を見たり、遊びや運動を体験したりした。 ・児童会祭りでは、なかよし委員会の児童が盲学校の児童と一緒に活動をした。アイマスクをしながらガイドロープやボールけりの体験ができるブースを作り、全校児童が、盲学校の遊びの体験をした。 ・とことん講座(クラブ活動)では、盲学校児童も旭町小学校のクラブ活動に参加し意欲的に取り組んだ。また、点字講座を盲学校職員が担当してくれたことで、点字を打つ体験を行うことができた。 ・なかよし学級と盲学校で顔合わせ会を行い、ボール回しゲームを行った。 ・なかよし学級・あさひ学級(特別支援学級)・盲学校の児童で、ふれあい教育展へ展示する共同製作を行った。 ・なかよし学級の子どもたちと盲学校児童とで豆まき会の交流を行った。 ・あさひカフェでは、休み時間にアイマスクをつけてガイドロープやブラインドボーリングの体験を行った。交流学年と一緒にペアを組むことで、年齢の違う友だちに配慮をしながら交流を深めた。 ○盲学校が近く、盲学校の児童との交流を日常的に何度も重ねることで、互いをより身近な存在としてかかわることができている。これからも継続して交流をしていきたい。

交流活動 院内学級	なかよし委員会(児童会)・全校 	【院内学級との交流】 ・児童会の時間に時間に院内学級に関することについての質問を考えた。それをもとに、院内学級の様子や入院中の児童の学習や生活の様子を、体育館にて行った全校集会で全校に紹介してもらうことができた。 ○院内学級や全校児童など、様々な方と交流できる環境を大切にして、互いにとって有意義な交流が行われるように、交流方法を適宜検討しながら続けていきたい。
交流学習 地域の方々	通年:全校   	【地域の方々に支えていただいていた活動】 ・公民館活動の一環で、登校の見守りや地域探検のサポートをしていただいた。 ・1・2・3年生の交通安全教室の見守りをしていただいた。校外へ出た2年生の歩行練習では、交差点での安全を見ていただいた。 ・遠足や美ヶ原登山など行事の際の同行やお豆腐づくりのボランティアとして支援をしていただいた。 ・あさひカフェ(休み時間の遊び交流)を毎週金曜日に行った。地域の方や信州人のボランティアさんにアドバイザーとしてかかわってもらうことで、多角的な視点であさひカフェの運営を行うことができた。 ・全校では、お世話になっている地域の方をお招きして、1学期に「学校応援団紹介式」3学期には「学校応援団の地域の方(笑顔の会)へ感謝を伝える会」を行った。 ・6年生は、お世話になった地域の方へ感謝の気持ちを込めて、3学期に奉仕活動として地域の清掃を3月に行う予定。 ○児童が安心して活動に臨めるように協力をお願いすることで、快く活動に参加しサポートしていただいた。地域の方が変わらず温かく学校に支援の手を差し伸べて下さっていることに感謝すると共に、交流を続けていけるよう工夫していきたい。
人権月間	全校  	【全校人権月間】11月のなかよし(人権)月間 ・各学級で人権について学び、月間中は、校長先生のお話や人権を考える本コーナー、友だちのいいところを花の形に折った折り紙に書いて掲示し「花咲き山をつくろう」など行った。なかよし委員が昼の放送で「花咲き山から 友だちのいい所メッセージ」を全校へ紹介した。 ・人権月間中、全校集会で松本盲学校理療教育部の先生による「見えにくい人・見えない人の生活とスポーツ」と題した講演会を行った。 ○月間では、花が少しずつ増えていくことで、温かい気持ちが生まれ、給食時の放送で素敵なメッセージを聞く事で、全校で優しい気持ちになることができた。講演会では、講師の先生の話のを伺うことで、改めて視覚情報に頼り生活していることを実感することができた。生きにくさを持っている方々に寄り添い、共に歩むことができるようにしていきたい。

令和6年度 社会福祉普及校活動報告書

学校名	松本市立清水小学校	学校長名	山口 昇一
所在地	〒390-0805 松本市清水2-8-18 電話32-1210 FAX37-1172	児童数 595名	
担当教諭名	常盤 明子		

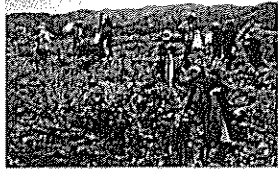
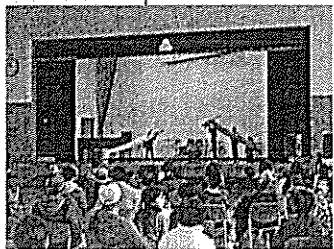
活動事業名	実施日・参加者	活動内容・感想・今後の課題など
< 人権月間 >	11月 全校	○学級や全校のお友だちを対象に、「いつもありがとう」や「～さんのこんなところがすてきですね」といったメッセージカードを書き渡し合った。 なかよし委員会では、作成した「キラキラの木」にメッセージカードを貼って全校が見られる廊下へ飾った後、1枚1枚切り取って各学級へ再度届ける活動を行った。
	全校 11月13日	○自分を「多様性」の一つとして位置づけ、自分自身を含む「性の多様性」を学ぶために、低学年・高学年で講演会を行いました。 ・低学年は、性の多様性を学ぶ基盤として違いを認め合える学習を行いました。 ・高学年は、違いを認め合えると共に、複数の性のとらえ方とその多様性を理解しました。多様な中にある自分を知り、「自分らしさ」を自覚するきっかけとなるような学びができました。
< 環境整備 >	児童会 せせらぎ委員会 通年	○委員会ではビオトープ「せせらぎ」の水質保全として、池や川の藻や雑草、落ち葉を取り除く活動を年間通し行った。 ・7月には、夜に「蛍を見る会」を行い、有志参加の親子が集まってビオトープの蛍を鑑賞した。 ・「せせらぎに来てほしい生き物」アンケートをとり、全校を対象に水生生物や自然環境について考えてもらう機会を設けた。
	2年 10月18日	○生活科の学習で「松本の宝」について学習をし、松本城、女鳥羽川等、遠足へ行った。その際、松本城や松本城柵形跡広場、女鳥羽川でごみ拾いをした。また、生活科の授業で町探検へ行った際もごみ拾いを行った。 

〈 異学年交流 〉	6年と1年 4年と2年 5年と3年 通年	○姉妹学級として、交流を行った。 ・絵本の読み聞かせ ・交流ゲーム(今年は「ひらがな Bingo」) ・交流給食 他、各学級や学年で工夫して、総合の時間などでも交流ができた。 ・交流清掃 ・地域の公園へ行って遊ぶ ・お祭り(折り紙や工作で作った品で)
------------------	---	---



令和6年度 社会福祉普及校年間事業報告書

学 校 名	松本市立中山小学校	学校長名	宮田 恭子
所 在 地	〒390-0823 松本市大字中山3517 TEL 58-5823 FAX 85-1395	児童数	95 名
担当教諭名	山崎 絵美 (教頭 田原 和幸)		

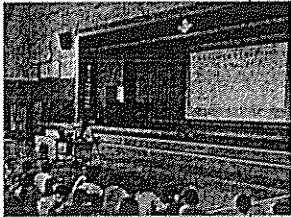
活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
<環境整備> ○花の育苗 ○花壇 ○パンジー	4月から通年 6年生児童13名 5年生児童14名 4年生児童17名 3年生児童19名 2年生児童17名 1年生児童15名 (全校)	○花壇のテーマは『創造』 6年より『今年は、真ん中に背の高いサルビア、外側に向かってだんだんと背が低くなるようにデザインしました。また、花壇を6つに分け、対角線には同じ花を咲かせるようにデザインしました。特に努力したのは草取りです。ぬいてもぬいても生えてくるので、毎朝みんなで草取りをしてしました。きれいな花壇に仕上がり、見てくれる人が笑顔になってくれればうれしいです。』 ○1～5年生みんなでパンジーの花を育てています。寒い冬の時期にも、教室に緑がたくさんあります。6年生に「おめでとう」の気持ちが伝わるように願いを込めながら育てています。
<収集・リサイクル> 薬草集め  アルミ缶集め 	年1回 全校児童95名 年1回 全校児童95名	○児童会の代表委員会を中心になかよし班ごとに「薬草集め」を行いました。5月22日には全校で学校周辺を、また家でも週末や夏休みを利用してたくさんの薬草を集めました。乾燥させた重さ約31kgの薬草を集められました。 ○児童会の環境委員会を中心に全校に呼びかけ「アルミ缶集め」を年1回行いました。どのクラスもたくさん集められ約90kgのアルミ缶を集めました。 ○収益金は、全校でアンケートをとりながら相談し、みんなで仲よく遊ぶためのスポーツの道具や地区の施設に寄付しようと考えています。
<体験活動> 劇の発表 	4年生17名	○毎年4年生は、総合的な学習の時間に「泉小太郎」について学習をします。今年は劇で表現し、学校で全校に発表したり、地域の文化祭、公民館（福祉ひろば）での交流集会で発表したりしてきました。地域みなさんも毎年楽しみにしている発表の一つになっています。福祉ひろばの発表会後には、福祉ひろばに来た方々と交流もできました。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

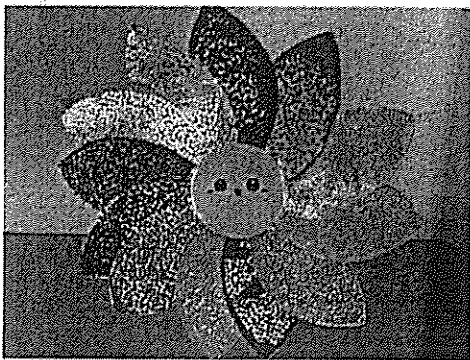
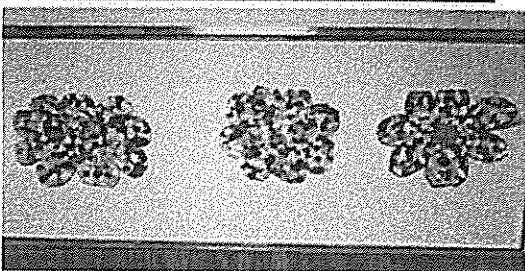
学校名	松本市立島立小学校	学校長名	山口 弘子
所在地	〒390-0852 松本市島立 3298 Tel0263-47-2159 Fax0263-40-1365	児童数	271名
担当教諭名	祖父江 資子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題
福祉ひろば交流	7月11日 3年1組(35名) 10月11日 3年1組(35名)	・地域の方々と一緒に、ニュースポーツ(ニチレクボール、モルックなど)を行い楽しんだ。また、子どもたちの学習発表会を見ていただいた。毎年交流をしているが、お世話になっている地域の方々と触れ合う良い機会となった。 ・今年は単級のため1クラスが2回交流したがより深められて良かった。
テトラパック・ペットボトルキャップ回収	5月～12月 全校、PTA	・PTA 学年部が中心となり「テトラパック」「ペットボトルキャップ回収」を行った。子どもたちが家から持ってきてクラスの回収箱に入れたり、参観日に保護者が持ってきてたりした。テトラパックは3843枚、キャップは130kg回収でき、松本市社協に寄付をして、社会福祉活動や発展途上国のワクチン代として活用していただくことになった。 新しい試みとして昨年度よりテトラパックの回収も行っているが、テトラパックの浸透がまだ十分ではないため今後も継続していきたい。

令和6年度 社会福祉普及校活動報告書

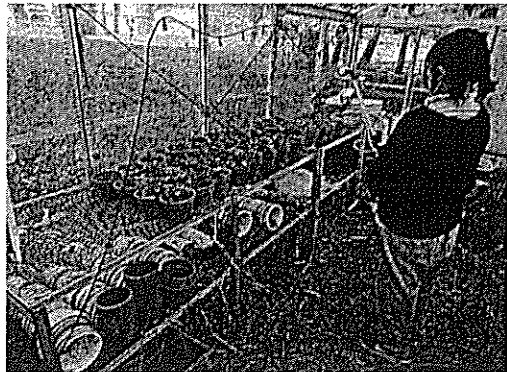
学校名	松本市立芳川小学校		学校長名	松田 真理	
所在地	〒399-0032 松本市小屋北2-5-1 TEL 0263-58-2030 FAX 0263-85-1396		児童数	757名	
担当教諭名	圓山 慎子				
活動事業名	実施期日・参加者数		活動内容・感想・今後の課題等		
(1) 牛乳パック回収 	4月～2月 〈参加者数〉 757名		児童会のリサイクル委員会が主体となり、全校児童に牛乳パックの回収を呼びかけた。週2回の回収日を中心とした活動であったが、子どもたちの活動を知った地域の方々が学校へ牛乳パックを持ち込んでくださる方もいた。また、牛乳パック回収週間を企画した。 回収した牛乳パックは、業者に引き取ってもらい、トイレトペーパーに交換後、市内の施設等に寄付をした。 今後、チラシやポスターによる呼びかけに力をいれていきたい。		
(2) 人権教育講演会 	9月9日(月) 9月17日(火) 〈参加者合計人数〉 757名		低学年(1～3年)と高学年(4～6年)に分かれて、性の多様性についての話を聞いた。性別に関係なく、自分の好きな色、好きなものを大切にしていること、自分らしくて良いことについて講演していただいた。子どもたちからは「自分らしくていいんだと知って、安心した。」「男の子とか女の子とか関係なく、自分の好きなものを好きでいいとわかった。」という感想が聞かれた。 今後、講話の内容が生きるように、地域の様々な方と交流活動を継続的に行い、人との関わり方について考える機会としたい		

学校名	菅野小学校	学校長名	梅田 久仁
所在地	〒399-0033 松本市笹賀 3460 Tel 58-2482 FAX85-1399	児童数	552 名
担当教諭名	高橋岳（児童会）		

活動事業名	実施期間 参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
児童会オリエンテーリング 「咲かせよう 世界に 1 つだけの花を咲かせよう」 「Good メッセージカードを贈ろう」	9 月～12 月 (全校児童)	期間中の 2 時間目休みに各委員会が企画を催し、姉妹学級のペアで各企画をまわり、親睦を深めながら、健康や社会福祉について学びを深めた。 各ブースでシールをもらい、全校で「笑顔の花」を制作した。 児童一人ひとりが、学校生活を明るく豊かに過ごすために目標を決め、その日の終わりにその目標が達成できたら花に折り紙を貼り重ねていく。また、姉妹学級で交流を重ね、努力する姿をそれぞれで褒め合うために、メッセージカードを作成しペアの相手に贈った。 「感想」 全校が自分の立てた目標達成に向けて、お互いに声をかけ合い努力する姿が生まれた。また、ペアとの交流を通して、相手の良いところを見つけたり、ペアで伝え合うことを通して、相手を思いやったりする気持ちが高まった。  
ペットボトルキャップ収集	11 月下旬～12 月上旬 (全校児童)	リサイクル旬間を行い、アルミ缶の回収と同時にペットボトルキャップ回収を行った。全校への毎朝の呼びかけや、お昼の放送で回収の呼びかけ、ペットボトルキャップの活用 of のされ方などを周知した。 全校で、声を掛け合いながらペットボトルキャップを持ち寄る姿が見られた。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	松本市立岡田小学校	学校長名	染川 あゆみ
所 在 地	〒390-0312 松本市大字岡田松岡 5 1 9 TEL 0263-46-0589 FAX 0263-45-1033	児童数	364 名
担当教諭名	矢崎 薫子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
・環境整備	通年・児童会	・グリーン委員会の通年活動として、季節に応じた花の栽培を行った。種から育てた花は、メイン花壇や敷地内の花壇に植えた。水やりや草取りなどにも熱心に取り組む姿があった。また、パンジー200鉢ほどの栽培を行い、卒業式等の行事会場にも飾る予定である。 
・施設訪問・交流	通年・4 学年	・総合的な学習の時間に、松本一本ねぎを栽培した。地域の方に指導していただきながら作業を行い、立派な松本一本ねぎを収穫することができた。 収穫後、自分たちで育てた松本一本ねぎを使って餃子を作り、皆で味わった。(例年は、収穫した野菜を地域の高齢者介護施設に届ける活動を行っているが、感染症流行拡大防止のため実施できなかった。) 

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	山辺小学校	学 校 長 名	中山 由加里
所 在 地	〒390-0222 長野県松本市入山辺 34 番地 TEL 32-2619 FAX 37-1173	児童数	569名
担当教諭名	ボランティア委員会担当 丸山 真		

活動事業名	実施期日 ・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
ペットボトル キャップ集 め	4～12月	例年行っていたボランティア委員会によるキャップ集めを行った。「世界の子どもにワクチンを日本委員会」の理念に賛同した活動である。年末には活動のまとめとしてキャップ集め週間を実施し、それまでのものと合わせて250kgを回収し、社協に届けた。なお、他都道府県の各種団体のウェブページを調べたところ、ペットボトルキャップ活動のkgあたりの寄付額が大きく下がり続けていることを知った。今まで苦労して学校職員が自家用車で何往復もして届けていたが、寄付額を考えると、大変苦労して集める現在の方法で行う意味がうすくなってしまったと考え、本校では今年度をもって回収を取りやめとした。
ボランティア 学習福祉 (体験)学習 講座「やさし さ“つむぎ” プログラム 参加	6月24日 7月8日 の2回	本校ボランティア委員会では今後新たな活動を展開するために、社協で案内してくださっている本プログラムに応募した。まずはボランティアについて学ぶため、メニュー⑧―1「ボランティアってなあに？」メニュー⑧―2「ボランティア活動企画～実践」について社協の皆様を講師に迎えて学習した。4～6年の混ざった集団であるが、とても具体的なお話で分かり易く、ボランティア活動に対するイメージがわいた。 「自分たちで何ができるだろうか」と考え始めた子どもたち。夏休み明けには、さっそく6年生が自発的に動いた。ボランティア委員会と美化(清掃)委員会のコラボということで、休み明けの学校をボランティアできれいにしようと、体育館の掃除を行った。 また、昨年まで行っていた「ちょボラ」を活動の中心に据え、「ちょボラショップ」を当番活動とし、全校に呼びかけてちょボラを日常的に進め始めている。ちょボラをして、ボランティア委員に報告すると、「ちょボラコイン」がもらえる仕組みである。そこで得た「ちょボラコイン」を使って、景品と交換する交換会(児童会祭りと兼ねて)を設け、成功に終わった。初の試みなので今後への課題はいくつもあるが、少しずつちょボラの輪が広がり始めている。子どもたちのボランティア活動が自然で、身近なものになればよいと願っている。また、来年度も本プログラムをお願いしたいと考えている。 

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

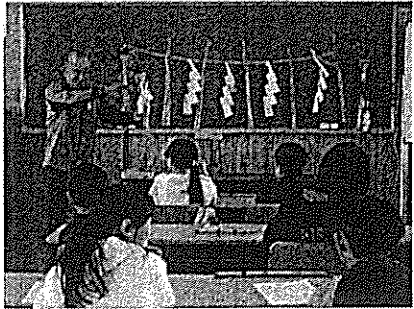
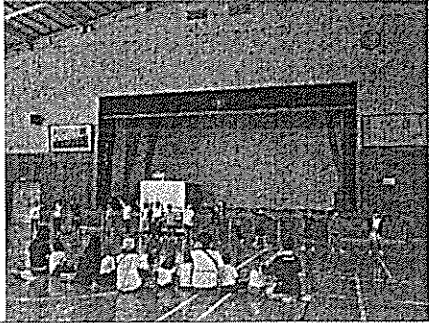
学 校 名	松本市立明善小学校	学校長名	林 淳子
所 在 地	〒399-0021 松本市寿豊丘813-7 Tel 0263-58-3244 FAX 0263-85-1398	生徒児童数	383名
担当教諭名	1学年 百瀬由岐野 福島尊子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
幼稚園・保育園のお友だちと交流しよう	令和7年 2月19日(水) 内田保育園 年長児 21名 1学年児童 75名 2月20日(木) 松本短大幼稚園 年長児 37名 1学年児童 75名 2月21日(金) 寿東保育園 年長児 35名 1学年児童 75名	近くの保育園・幼稚園の年長さんを学校に招待し、一緒に遊ぼうと交流を企画した。 どんな遊びなら喜んでくれそうか、たくさん意見を出しあう中で、「園のお友だちがやりたいことをやろう」ということになり、いくつかの候補の中から園ごとに希望があった「ドッジボール」「おにごっこ」「宝さがし」に決まった。 交流内容が決まってからは、行う園・内容ごとにグループを作り、計画したり進行の仕方を考えたりした。また、プレゼントを渡したいという思いも生まれ、2年生が作っていた紙コップ花火をあげようということになり、園のお友だちのことを思いながら思い思いに作成していた。 当日は、担当した遊びの司会をしたり、ルール説明をしたりしながら、楽しく交流することができた。終わりの会でプレゼントを渡すと「わー！」という歓声も上がり、子どもたちも嬉しそうだった。 園児さんからも「楽しかった」という声が上がリ、子どもたちの自信となった。また、安心感をもって小学校に入学できる一助となるような幼保小の接続となったと思う。



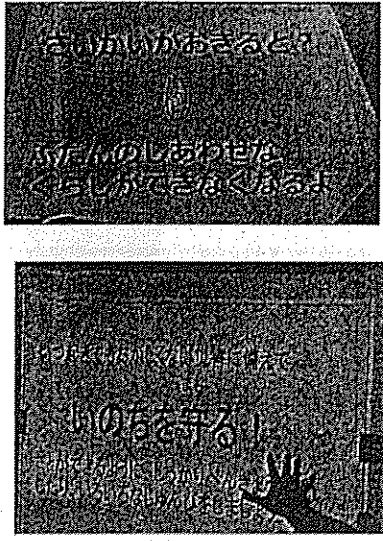
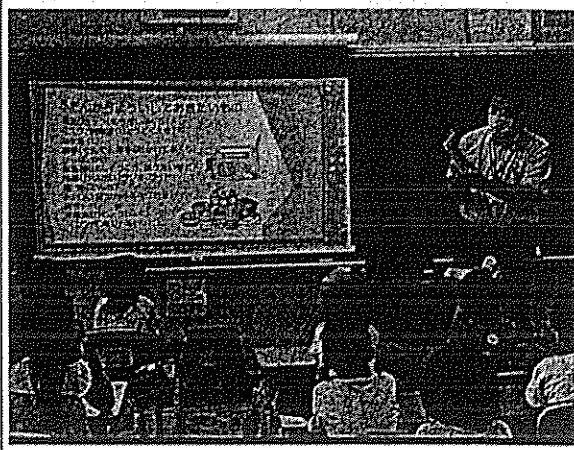
令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	今井小学校	学校長名	大和 正秀
所在地	〒390-1131 松本市今井1616 Tel 59-2003 FAX 59-1009	児童生徒数	154名
担当教諭	織茂 幸子		

活動事業名	実施時期・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
1 福祉ひろば交流	6月 俳句作り 5年生20名 9月 ふれあい健康教室 1年生17名 12月 お正月飾り作り 4年生24名 クリスマス会 2年生31名 1月 昔の遊び 1年生17名	・福祉ひろばの方に学校に来ていただいて、国語の俳句作りやお正月の飾り作りを行った。子どもたちは難しいところのやり方を教えてもらいながら、自分で作ったお正月飾りを大事に持って帰った。 ・福祉ひろばでお年寄りと一緒に遊んだり、プレゼントをしたり発表をしたりすることを通して、お年寄りと共に過ごす楽しさを感じたり、自分たちがしたことでも喜んでもらえるという喜びを感じたりすることができた。 
2 松本養護学校との交流	通年 全校152名	・本校に隣接する松本養護学校小学部の児童と通年交流を行い、交流を通して、共に活動する楽しさや、相手を思いやる気持ちや、共にあることが当たり前である気持ちを学んでいる。1学期のはじめの会では、自己紹介や顔合わせなどを行った。2学期は松本養護学校のこども広場に招待してもらい、一緒に遊んだ。本校のプールで交流した学年もあった。3学期のまとめの会では、各校で学習してきたことを発表し合ったり、一緒に集団ゲームを楽しんだり、プレゼント交流をしたりして、親交を深めた。基本的に1年に3回の交流を計画しているが、ポップコーンや焼き芋を届けに行ったり(1年)、クリスマスツリーをプレゼントしたり(3年)と、子どもたちからの発案で交流することができた。 

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	開明小 学 校	学 校 長 名	百瀬 顕正
所 在 地	〒399-0001 松本市 宮田 11 番 41 号 TEL 25-0485 FAX 29-0892	生徒児童数	562 名
担当教諭名	酒井 文子		

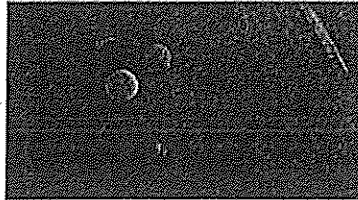
活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
防災学習 93 名	7 月 28 日 	社会福祉協議会の西澤様をお迎えして 2 学年対象に防災のお話をしていただいた。実際の写真や絵、クイズなどを通し、災害が起きた時の行動や備え方を学んだ。子どもたちは「災害のために備えることが大切だと感じた。」「災害が起きた時に自分の命を守るために大切な行動がたくさんあることを学んだ。」など感想をもった。週末には、実際に台風が接近しており、子どもたちは自分事のように真剣に話を聞くことができた。簡易トイレを実際に見たり、1 週間の一人分の水量を実物で確認したりすることで興味を持って防災の備えについて考えることができた。 

インクルーシブ・ニュースポーツ体験

- ①車いすボッチャ
- ②目隠しボッチャ
- ③通常ボッチャ

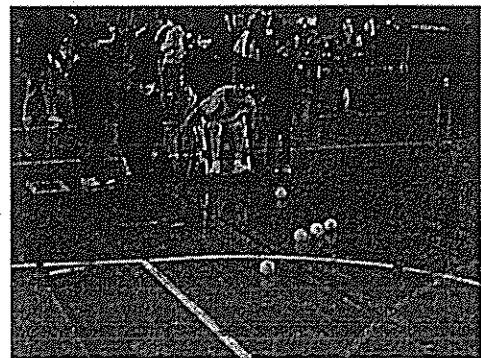
81名

11月22日



社会福祉協議会の西澤様・ほそだ様・かみじょう様・にった様、ボランティア音色クラブ中山様をお迎えして、インクルーシブ・ニュースポーツ体験「スクエアボッチャ」を6年生で行った。1クラス4チームに分かれ、1つのスペースで体験した。車いすに乗ってボッチャをしたり、目隠しをしてボッチャをしたりする体験をした。通常のボッチャは姿勢をよくして投げる方法を教わった。目隠し体験では、ジャックボールの方向や距離や方向がわからないので、初めは、「むずかしい。」と言っていた子どもたちが、友だちが手を叩いて音で知らせ、目隠しをして投げる経験をした。車いす体験では、車いすを移動し、投げやすい所でボールを投げたりするうちに「やってみたい。」と積極的に体験することができた。車いすに乗っている友だちの支援について自分たちで考えて動くことができた。

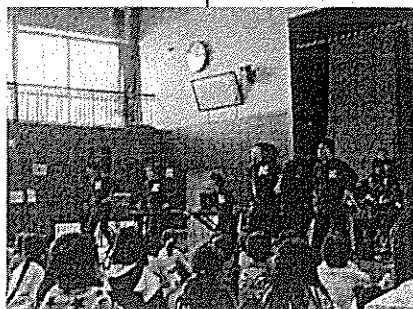
車いす体験、目隠し体験は、その立場の人になって行ったことで、視覚障害の方・肢体不自由の方と接したときの理解につながる体験ができた。



*4年生は都合により中止

学校名	松本市立並柳小学校	学校長名	山本 純子
所在地	松本市並柳4丁目9番1号		
担当教諭	加藤 恵子		

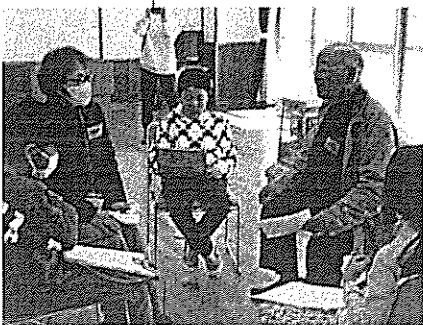
活動事業名	実施期日	活動内容・感想・今後の課題等
・環境整備	通年・児童会	・園芸委員会の通年活動として、季節に応じた花の栽培を行った。育てた花は、メイン花壇や敷地内の花壇に植えた。児童は水やりや草とりに熱心に取り組んでいた。 ・さらに児童会活動の一環として、「並小フラワー美術館」を行い、児童が花壇の花を写生してコンテストをする活動を行った。多くの児童が環境整備に興味を持つことができた。 ・今後は育てた花を「6年生を送る会」や「一年生を迎える会」などでも飾る予定である。
・交流活動	11月	・昨年度から引き続き、楽団「ケ・セラ」さんによるコンサートを実施した。 ・障害を持った方々についての理解を深める目的があったが、とても素晴らしい演奏で、子どもたちは、「こんな演奏ができるなんてすごい」「自分が知っているアニメの曲をやってくれたので、とても楽しく聴くことができた。」と心から感動していた。 ・子どもたちは、大きな拍手を送ったり、自然と手拍子をしてリズムをとったりして楽しんでいた。 ・昨年度もそうであったが、このような演奏ができるようになるまでには、たくさん練習をしたのだろうと考え、音楽のリコーダーの練習に力を入れていたり、スクールバンドに入ったりしている児童が、「このように演奏できるまで、練習を頑張りたい」と感じるなど、子どもたちが挑戦しようとしていることの励みになっている様子もあった。 ・演奏の途中で、気持ちが高揚し、体育館を1周走りながら演奏する楽団の方もいた。あとから、「ケ・セラ」の指導をしている方が、「普段は緊張してあのようにはない。きっと並柳小学校の子どもたちが素直な気持ちで演奏を聴いてくれたり、自然と手拍子や拍手をしてくれたりしたので、うれしかったのだと思う」とおっしゃった。子どもたちに人権教育を行う意味だけでなく、相乗効果があるのだと思った。 ・楽団「ケ・セラ」の皆さんの演奏を子どもたちに毎年聴かせたいが、費用が上がり、予算が組めなくなってきた。それを続けていくためにもぜひ今後も補助金をお願いしたい。



令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立四賀小学校	学校長名	荻部 あゆみ
所在地	〒399-7402 松本市会田1113番地 Tel 0263-64-1070 FAX 0263-64-1071	生徒児童数	116名
担当教諭名	西村 香織（教頭） 村石 真理子		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
訪問交流事業	9月10日（火） 3年生 14名	○四賀福祉ひろばの皆さんと交流会 ・福祉ひろばの皆さんと「新聞じゃんけん」「ペタンク」を行った。どちらのゲームも年齢や体力に関係なく楽しむことができ、和やかに交流することができた。 ・お菓子を食べながら、参加者の皆さんと会話を楽しみ、交流を深めた。
	12月19日（木） 3年生 14名	○四賀福祉ひろばの皆さんとクリスマス会 ・クリスマス会に向け、劇・合奏・ダンスを考えて練習した。当日は、参加者の皆さんに楽しんでもらえるよう、大きな声やゆっくりな話し方を意識して発表することができた。 ・クリスマスケーキを食べながら、参加者の皆さんと会話を楽しみ、更に交流が深まった。
	2月25日（火） 3年生 14名	○四賀地域のお年寄りの皆さんから昔の生活を学ぶ ・社会の授業で「昔の人の暮らし」を学び、疑問に感じたことを尋ねようと、地域に暮らすお年寄りの皆さんにお願いした。たくさんの疑問に懇切丁寧に答えていただき、良い学びの機会となった。また、終始和やかな雰囲気、交流も深まった。



令和 6 年度 社会福祉普及校活動報告書

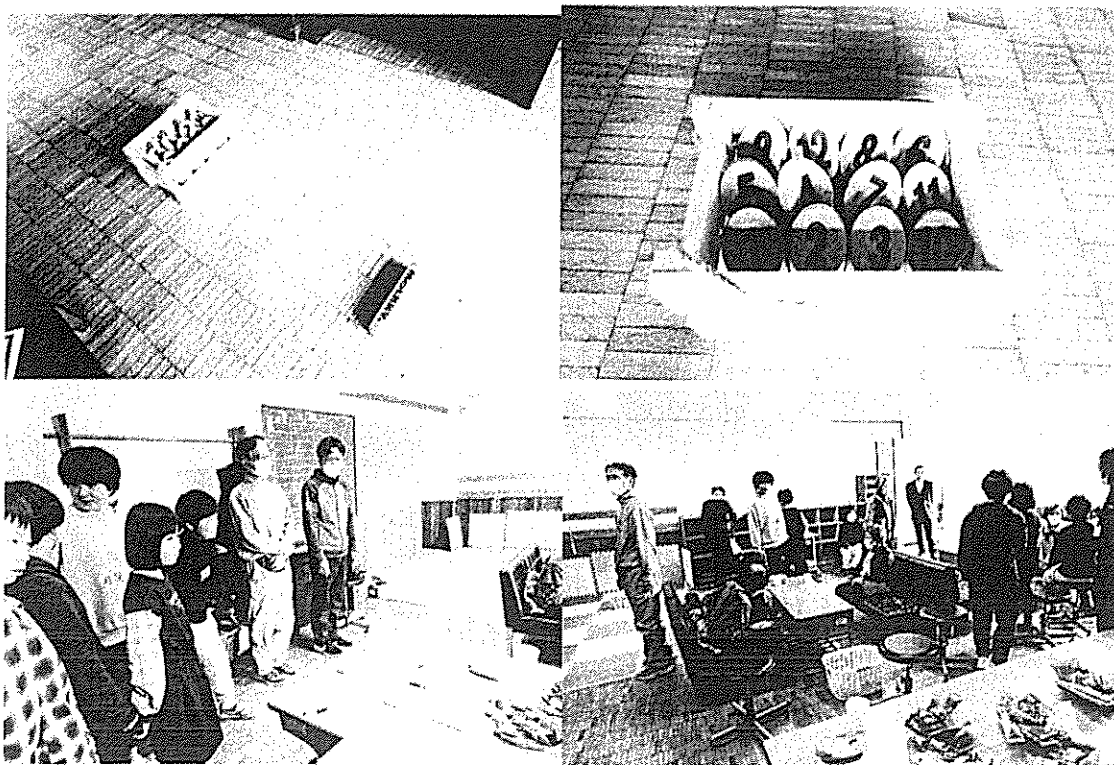
学校名	大野川小学校	学校長名	馬場 英晃
所在地	松本市安曇 3886-1 Tel 93-2224	児童数	22名
担当教諭名	中澤 清子		

活動事業名	実施日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題など
地域の環境整備 	5月 全校	地域の環境整備の活動として、美化活動を5月に行った。乗鞍の観光スポット「番所大滝」「善五郎の滝」の周辺を、全校で手分けをして見て回った。ゴミはとても少なく、設置された簡易トイレも非常に清潔で、乗鞍の環境が大変整備されていることを実感できる活動となった。
外来植物駆除 	5月 全校	地域の自然保護の専門家にいらしていただき、実際に校舎周辺に生えている外来植物の駆除活動を行なった。毎年続けている活動ということもあり、児童の外来植物の理解も進んでおり、外来植物の名前が、児童との会話の中に自然と出てくるようになった。
地域を知る活動 	9月 全校	乗鞍はクマが多く出没する地域であるので、クマについて学ぶ機会として「クマの授業」を行った。クマが食べるものからクマの生態を知り、実際に毛皮にも触ることができた。また、クマに出会ったときの対処法などを、「クマのかるた」から学ぶこともできた。
地域活性化に向けた活動 	通年 全校	総合的な学習の時間では、個人や学年でそれぞれの課題を設定し、1年間探究を続けた。「学校のみんんの役に立つ施設づくり」「乗鞍の特産物の販売を通したPR活動」などの探究を続けた結果、地域の理解や活性化に大きく貢献した。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

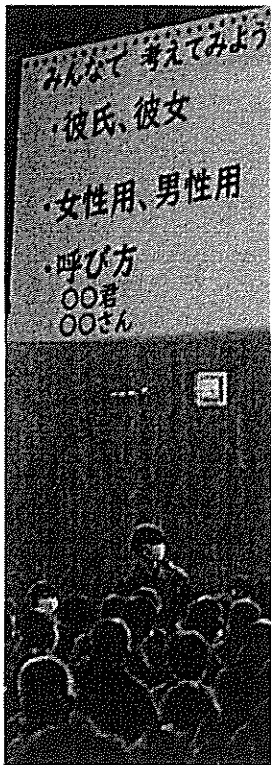
学校名	奈川小学校	学校長名	青森 隆俊
所在地	〒390-1611 松本市奈川 2281 番地 TEL 0263-79-2002 FAX 0263-79-2626	児童生徒数	7名
担当教諭名	滝口 雅彦		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
施設等訪問・交流 (ふれあい福祉広場)	12月11日(水) 26名	福祉ひろば交流として地域の高齢者の方々とニュースポーツのモルックを行ったり、折り紙を折ったりして交流を楽しんだ。



令和 6 年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立清水中学校	学校長名	武井 利博
所在地	〒390-0805 松本市清水 2 丁目 7 番 12 号 TEL : 0263-32-2078 FAX : 0263-37-1174	生徒児童数	334 名
担当教諭名	押澤利満		

活動事業名	実施期日	活動内容・感想・今後の課題等
LGBTQ 講演会	11 月 18 日(月)	○後期人権旬間 LGBTQ 講演会の実施 全校生徒を対象として、性の多様性の理解と共生をねらいとした講演会を行った。「自分らしく生きる～人の数だけ性がある～」というテーマに基づいて、改めて生徒一人一人が女性観、男性観について考える姿があった。生徒からは「自分が知らないうちに相手を傷つけているかもしれない。自分の価値観を人に押し付けるのではなく、価値観を広げながら相手の気持ちを理解できる人間になりたい。」という感想が寄せられた。 
アルミ缶・ペットボトルキャップ収集	4 月～3 月	○アルミ缶とペットボトルキャップの収集 アルミ缶収集では、昨年の 1 万 8 千個を大きく上回る 2 万個を達成し、換金後の総額も昨年の 15,070 円から 24,002 円と大幅に伸ばすことができた。使い道については全校にアンケート調査を行い、来年度の生徒会費に回すことが決定された。今後は収集活動を通してさらに「社会に役立つ」という思いを育んでいきたい。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立丸ノ内中学校	学校長名	宮下 昌史
所在地	〒 390-0862 松本市宮淵3丁目6番1号 TEL 32-1962 FAX 37-1175	生徒数	230名(※6.5.1)
担当教諭名	下里 洋平		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題
収集・リサイクル	6月下旬 11月上旬 全校 230名	緑化福祉委員会の呼びかけで、ペットボトルキャップ、ブルタブの収集を行った。キャップは業者に持ち込み、ワクチン購入に充て、ブルタブも過去に集めてきたものもまとめて社会福祉協議会に送る予定。 収集量 キャップ・・・80kg 生徒集会において、収集の目的を伝えることで、ボランティアへの意識を継続することができた。
環境整備	通年 委員 21名	緑化福祉委員会の活動として、花壇とプランターを使って季節に応じた花の栽培を行っている。 今年度は校内でのプランターへの苗の定植や松本城西花壇への定植作業にも参加することができ、地域の方と一緒に交流しながら花を植えることができた。 春～秋にかけて渡り廊下にプランターを設置し、ニチニチソウなどの花を定植。生徒が校内を移動する際にも花を楽しんでもらえるように取り組んだ。 また秋には、他緑化事業の補助金を活用してパンジーやビオラの苗を定植し卒業式に向けて彩を添えられるよう管理している。  松本城西花壇の定植作業  地域の方との定植作業
施設訪問	未実施	

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立旭町中学校	学校長名	林 邦彦
所在地	〒390-0802 松本市旭3-7-1 TEL: 32-2048 FAX: 37-1176	生徒数	311名
担当教諭	手塚 道	笠井 奈緒美	

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
1 収集活動	通年（毎週金曜日） 全校生徒および 職員対象	アルミ缶・ペットボトルキャップ収集 ・全校生徒の協力により、多くのアルミ缶やペットボトルキャップを集めることができました。 ⇒アルミ缶収集の収益は、松本盲学校との交流資金に充てました。 アルミ缶収集の収益金でサウンドテーブルテニスの専用ボールを購入し、本校の代表生徒が松本盲学校に伺って贈呈をしました。 ⇒ペットボトルキャップはリサイクル業者を通してユニセフへ寄付しました。
	1月13日～22日 全校生徒および 職員対象	書き損じハガキ収集 ・全校に呼びかけて書き損じハガキの収集を行いました。（長野県視覚障害者福祉協会に送付の予定。）
	12月9日～12月13日 全校生徒および 職員対象	赤い羽根共同募金 ・全校生徒に呼びかけて募金活動を行いました。（県共同募金会松本市支会に送金。）
2 施設等訪問 交流活動	① 7月9日 （福祉交流委員対象）	松本盲学校への訪問交流 ・松本盲学校を訪問して、中学部生徒のみなさんと交流を行いました。サウンドテーブルテニスの体験交流の形で、約一時間体育館で交流をさせていただきました。 松本盲学校と信大附属病院院内学級との交換日記
	② 通年	・それぞれの学校と本校の各クラスが、各学期に一回ずつスケッチブックでの交換日記を行い、お互いの学校生活や、自己紹介、応援メッセージなどを書き送って交流しました。
3 文化祭の交流	① 10月4日（金） 全校生徒対象	本校の校内発表会での松本盲学校の紹介 ・本校の校内発表会の福祉交流ステージで、松本盲学校についてクイズを出したり、サウンドテーブルテニスで交流した様子を紹介したりしました。
	② 10月5日（土）	松本盲学校水仙祭参加 ・福祉交流委員会の委員長と副委員長で、松本盲学校の文化祭へ参加し、ステージ発表で旭町中学校についてのクイズを出したり、旭町中学校の校内発表会の様子を紹介したりしました。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立松島中学校	学校長名	阪口 和彦
所在地	〒390-0851 松本市島内 3986 TEL0263-40-1367 FAX0263-47-3219	生徒数	463 名
担当教諭名	岡村 美紀		

活動事業名	実施期間・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
【 収集・リサイクル 】 	通年 全校・全職員	【家庭のアルミ缶等収集】 ・毎週火曜日はＴボラ （Tuesday ボランティア）の日として位置づけ、アルミ缶、エコキャップ、ベルマークを収集した。 ・地区の資源物回収への協力 （年４回）では、地区 PTA を中心に行った。 ・エコキャップは民間のリサイクルセンターに運び、ポリオワクチン 79.5人分に替えて頂いた。 ・アルミ缶は換金し、日本赤十字社を通じ能登半島の被災者支援義援金として寄付予定。
【 書き損じはがき収集 】	2月17日～21日 全校・全職員	・集まったはがきは、県視覚障害者協会へ送付し、生活支援に役立てて頂いた。 【 課題 】 全校生徒のボランティア精神の高まりを感じられないので、来年度は日本赤十字社の方などからボランティア活動について話をしていただくなどして、活動を盛り上げていきたい。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立高綱中学校	学校長名	濱中 浩
所在地	〒390-0852 松本市大字島立4 4 1 6 Tel. 0263-47-3929 FAX 0263-40-1368	生徒数	293名
担当教諭名	久保田翔 早川 有美		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題 等
サルビア園整備 	5月～11月 環境委員会を中心に 全校生徒が参加	・昭和52年2月に起きた火災による校舎焼失という過去を風化させないことを願い、本校のシンボルであるサルビア園の花壇づくりを進めている。毎年地域の方の協力を得ながら、堆肥作りや土おこしを行い、環境委員会の生徒を中心に、苗や花の管理を行った。 ・各学級毎の管理の下、水やりや草取りに励み、各学級で考えた個性豊かな花壇のデザインが揃った。 ・本年度の経験を生かしながら、来年度も引き続き生徒会四本柱のひとつ「咲き誇るサルビア園」の実現にむけて努力していきたい。
収集・リサイクル 	通年 福祉委員会を中心に 全校生徒が参加	・福祉委員会の企画により、全校生徒へエコキャップやベルマーク、インクカートリッジの回収を呼びかけた。 ・エコキャップは社会福祉協議会へ譲渡し、インクカートリッジは当該企業に郵送した。 ・委員の当番活動を中心として、回収したベルマークの整理を進め、生徒の希望アンケートから学校生活に活用する品々に交換することができた。 ・今後も様々な活動を通して、福祉活動への関心を高めていきたいと考えている。

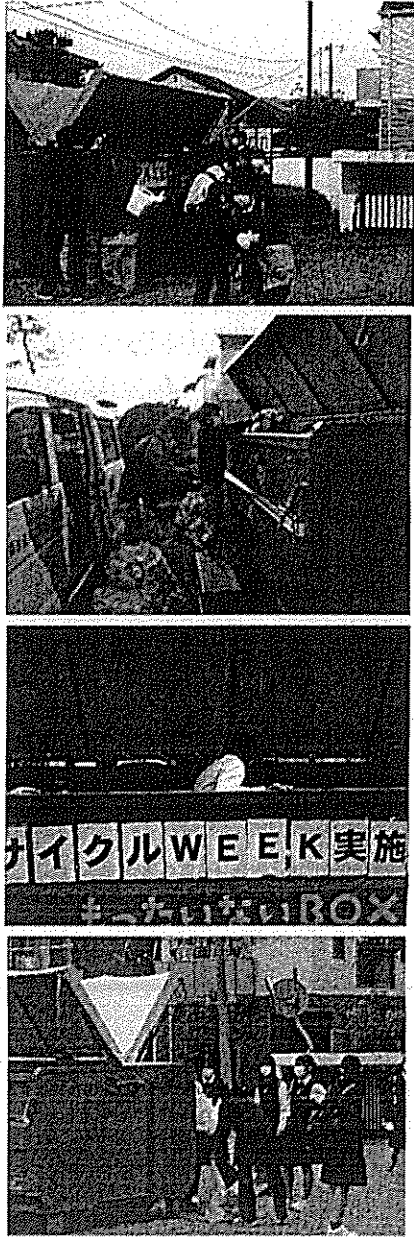
令和6年度 社会福祉普及校活動報告書

学校名	松本市立菅野中学校	学校長名	渡邊 享秀
所在地	〒399-0033 松本市大字笹賀3475 TEL 58-2056 FAX 85-1440	生徒数	
		419名	
担当職員名	相野 琢己		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
① 牛乳パック 牛乳瓶の蓋 収集	通年 全校生徒・職員	○毎週火・金曜日の登校時に、昇降口で収集活動を行った。
② エコキャップ・リサイクル活動	福祉委員会39名	○「収集強化月間」を企画し、日常以上の呼びかけ、収集量の可視化、感謝状の準備などを行うことで、参加人数、収集量を増やすことができた。
③ ベルマーク回収		○回収した牛乳パックは古紙回収業者に買い取ってもらい『みどりの基金ネパール』に寄付した。
		<年間収集量> ・牛乳パック 78 kg ・牛乳瓶のふた 50 kg ・エコキャップ 100 kg (社会福祉協議会へ届けた) ・ベルマーク 506, 9点 (ベルマーク財団に寄贈した)
③ 交流活動	8月20日、9月7日 福祉委員会5名	○菅野児童センターと二子児童センターの夏祭りにボランティアとして参加し、児童たちとゲームなどをして交流を深めた。
④ 訪問活動 交流活動	11月下旬 福祉委員会39名	○高齢者施設(グループホーム「ひだまりの里」)へ訪問し、体操やレクリエーション、歌を歌うなどの活動を通して、高齢者の方々との交流を深めた。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	筑摩野中学校	学校長名	興 幸雄
所在地	〒399-0035 松本市村井町北2丁目11番1号 Tel 58-2071 fax 85-1441	生徒数	670名
担当教諭	原 洋子 向山 佳帆		

活動事業名	実施期日 参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
1 収集活動 	5月、10月	アルミ缶・牛乳パックの収集 ・地域の回覧板でお知らせしたことにより、全校生徒だけでなく、地域の方にも参加していただけるようになった。 ・真寿園からも協力していただくことができありがたかった。 ・リサイクルウィークの実施時期を調整しないと、回覧板を効果的に利用できないことがあるので、今後は気をつけていきたい。

R6年度の収集結果

5月 アルミ缶 …120 ㍻
牛乳パック…100 ㍻
10月 アルミ缶 …120 ㍻
牛乳パック…164 ㍻

	9月	車椅子贈呈 
2 募金活動 	11月	赤い羽根共同募金 ・4,643円が集まり募金することができた。 全校生徒への周知は不十分だったので、今後の課題としてい。
3 収集活動  	1月	書き損じはがき収集 ・生徒会が2年生に引き継がれて最初の行事であったにもかかわらず、呼びかけによって多くの書き損じはがきを収集することができた。書き損じはがきが、どのように役立っているのかを、生徒会が全校に向けて周知することができた。しかし、年賀状自体が減少しているので、本年度でこの活動は終了予定。

令和6年度 社旗福祉普及校事業活動報告

学校名	女鳥羽中学校	学校長名	普明 秀幸
所在地	〒390-0316 松本市原 1085-2 TEL46-0285 Fax45-1035	生徒数	・全校 321 名
担当教諭名	上山 泰樹		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
・収集リサイクル	全校生徒名 通年	どちらも回収の際、クラスマッチ方式で個数を競った。
・環境整備 MCV 活動 (女鳥羽地域ボランティア)	エコキャップ 強化週間 11月11～15日 ベルマーク 10月16日 11月28日 【分担地区】 ①女鳥羽川河川敷 ②総合体育館周辺 ③市営球場周り ④ホットプラザ浅間周辺 ⑤御射神社周辺 ⑥岡田神社周辺 ⑦護国神社周り ⑧岡田小・女鳥羽中 ⑨JA 岡田～岡田町 ⑩美須々公園	・途上国の子どもたちへ送るワクチンを購入するため、各家庭のエコキャップを回収した。 ・校内の備品充実のため、各家庭のベルマークを回収した。 ・アルミ缶収集 ・通学路、女鳥羽中学校区の施設の環境整備活動 ・毎年行っている生徒会活動。 第1回は、登校時にゴミ拾いを行った。 第2回は、地域のゴミ拾い、草刈り、落ち葉清掃を委員会ごとに分担して行った。
・相互理解集会	5月 8日 11月20日	  ・互いの良さ全校の前で出し合うことで認め合い、相互の理解を深めるようにした。  

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

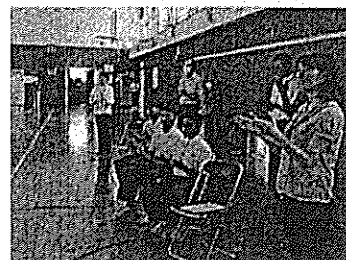
学校名	松本市立明善中学校	学校長名	清水 伸行
所在地	〒399-0021 松本市大字寿豊丘812の1 TEL 0263-86-0044 FAX 0263-29-0868	生徒数	213名
担当職員	佐々木 清一郎		

I 明善学区交流

活動事業名	実施期間・参加者数	活動内容・感想
I 環境整備・交流 「松本ろう学校との交流」	6月27日 交流① 全校 213名 6月～9月 緑化委員 25名 9月12日 緑化委員 11名 9月27日 交流③ 全校 213名 通 年 交流④ 生徒会本部・教務	○生徒集会に松本ろう学校の生徒を招待し、手話交流会を行いました。一緒に手話で菅田将暉さんの「虹」を歌いました。 ○生徒会緑化委員会が交流畑を整備、苗つけ ○松本ろう学校の中学部の生徒と共同作業を行いました。 ○緑明祭に松本ろう学校中学部の生徒を招待し、交流の発表を行いました。 の児童生徒を招待しました。 ○互いの学校の生徒会便りや学校便りを交換して交流掲示板に掲示し、互いの学校の様子を伝え合いました。

交流活動の様子

《 交流① 手話交流会 》 松本ろう学校のみなさんといっしょに歌った「虹」♪固く結んだ手を離さないから♪



《 交流② 交流畑の共同作業 》 交流畑でで里芋や花を育てました。一緒にマリーゴールドの花摘みをしました



《 交流④ 交流掲示板 》

《 交流③ 緑明祭招待 》 交流の発表を見ていただきました。



令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立安曇中学校	学校長名	降旗 敏昭
所在地	〒399 - 1520 松本市安曇 9 6 4 TEL0263 - 94 - 2234 FAX 0263 - 94 - 2235	生徒数	19名
報告者名	永澤 岳美		

活動事業名	実施期日 参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
ゴミ出しボランティア 	4～11 月の毎週火曜日 朝の時間 参加者 17 名 12～3 月の毎週水曜日 朝の時間 参加者 16 名 	「ゴミ出しボランティア」の活動で、生徒が安曇地区の学校周辺の一人暮らしの高齢者のお宅を訪問し、高齢者に代わって家庭ゴミを収集所まで運びました。ここ数年、生徒会活動の当番活動として定着しており、一緒に行く仲間と協力して取り組んでいます。 【生徒の感想より】 ○集会などでどうしても行けない時を除いて、欠かすことなくゴミ出しボランティアの活動をすることができました。この活動は、地域の方との交流だけでなく、他学年の人と協力して行うので、中学生同士の交流にも役立つのではないかと考えます。これからもう一緒に活動する中学生や地域の方と積極的にコミュニケーションをとれるように心がけたいです。 ○子どもも高齢者の方も減っている中、今もこのように活動が続いていることは素晴らしいことだと思います。これからはこの活動をより良くしていくこともできるだろうし、これから先何年も続けることができると思うのでさらに貢献していきたいです。
人権講演会 「ゴールボール体験」 	11月5日(火) 参加者 16名 	公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会の半田直道さん、山口博さん、月岡俊明さんお迎えして講演会を開催しました。アニメ「共に生きるということ」を視聴し、視覚障がい者への理解を深め、ゴールボール体験を通して、人権と持続可能な社会のあり方について考えました。当日は選手が使っているアイシェードを実際に着けて2人1組の歩行や競技を経験しました。 【生徒の感想】 ○障害のある人の気持ちが思っているよりもわかってなくて、このような機会は大事だなと思った。 ○障害者のことをいつの間にか差別してしまっていたと思った。障害のある人も普段通りの生活ができることを知った。何か困っている人がいたら助けるようにしたい。ゴールボールは奥が深いスポーツだと思う。 ○ゴールボールを通して、目の見えない人でもスポーツを楽しむことができることを知りました。ただやはり目が見えないとこわくて難しいので、いつも過ごしている人はすごいと思いました。 ○視覚障害者の大変さを実感することができたし、音や手触りなどで生活しているのは、とてもすごいことだと思った。この学習会を通して考え方が変わった。

令和6年度 社会福祉普及校活動報告書

学校名	松本市立会田中学校	学校長名	重盛 究
所在地	〒399-7402 松本市会田8923番地 Tel 64-2020、FAX 64-2974	生徒数	59名
担当教諭名	山本千英子 牛山雄斗 石黒崇 野村多恵 望月幸子 名取美咲		

活動事業名	実施期日・参加者	活動内容・感想・今後の課題等
体験学習 講演会	11月8日 1～3学年、職員	〈性の多様性についての学習〉 ・松本市人権共生課から講師をお招きし、多様性を尊重する地域社会を目指した松本市の取り組みについて知り、性の多様性への理解を深めた。
	11月11日 2学年、職員	〈LGBT講演会〉 ・LGBTQ当事者の方をお招きしてお話を聞いた。自分らしく生きること、他者理解などについて考える機会となった。 《生徒の感想から》 ・性のあり方が自分とは違っても、それは個性だから、それを普通のことだと思える社会になればいいなと思っています。講師の先生から教わった人生の教訓も、今後の進路や生き方を考える上で大切にしていきたいです。
	12月23日 3学年、職員	〈パーソナルカラー講座〉 ・パーソナルカラー診断師を講師としてお招きし、カラー診断を通して「自分らしさ」とはどんなことを考える機会となった。
	11月18日 1学年、職員	〈車いす体験・高齢者疑似体験〉 ・松本市社会福祉協議会の方々に来ていただき、車いす体験と高齢者疑似体験を行った。体験を通して、高齢者や障がい者への理解を深めるとともに、相互扶助と思いやりの心を育んだ。 《生徒の感想から》 ・高齢者や車いすの方がいたら手伝ってあげたいし、自分のおばあちゃんにもしっかりと優しくしてあげないと思った。 ・将来、社会に出てみて、困っている人がいたら、助け合っていきたいなと思いました。この体験は、忘れないで生きたいです。
施設・ 交流活動	11月12日 3学年、職員	〈福祉ひろば交流会〉 ・地域の高齢者の方との交流会を行った。生徒が高齢者の方が楽しめそうなレクリエーションや歌を準備し、一緒に活動した。福祉学習で学んだことを生かし、実践的に学ぶことができた。
収集・ リサイクル 活動	12月 1～3学年、職員	〈赤い羽根募金活動〉 ・募金の趣旨について、全校生徒に昼の放送内でどのように使われるのかを説明して募金活動を行った。集まったお金は共同募金会松本市支会に送った。
	1月 1～3学年、職員	〈書き損じはがき、未使用切手、古切手収集〉 ・長野県視覚障害者福祉協会の依頼を受け、生徒会活動として行った。はがきを募金のつもりで提供してもらうよう呼びかけた。

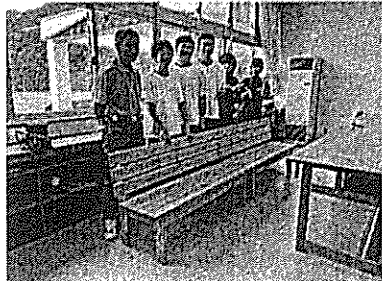
令和6年度 社会福祉普及校活動報告書

学校名	大野川中学校	学校長名	馬場 英晃
所在地	松本市安曇 3886-1 TEL93-2224	生徒数	8名
担当教諭名	松澤史葉		

活動事業名	実施日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題など
地域資源物リサイクル回収 	通年 全校	P T Aや地域の方々と協力し、地域のアルミ缶・ダンボールを収集した。中学生は回収車への積み込み作業にも協力した。乗鞍地区で取り組んでいる「ゼロカーボンパーク」の活動に、中学生が率先して関わることができている。
地域を知る活動 	通年 全校	総合的な学習の時間では、昨年に引き続き「空き家問題」を全校で考えたり、各自で課題を持ち、課題解決に向けて活動をしたりした。個人課題については、個人のテーマを探究したことで、地域をより深く知ることにつながった。2月の参観日では、ポスターセッションを行い、1年間の活動の成果を、保護者の皆さんと共有することができた。
地域を知る活動 	通年 全校	地域を知る活動の一環として、乗鞍にお住いのプロの山岳ガイド、次田さんをお招きして、「次田さんに学ぶ山の世界」と題してお話を伺った。次田さんが登頂してきた世界各地の名峰から、地元のアルプスまで、幅広く山の世界のお話を伺った。地域を知るとともに、来年度の奥穂高登山に向けて、気持ちが高まる時間となった。
地域貢献活動 	通年 全校	5月には、乗鞍スキー場でわらびを収穫し、そのわらびを市内の料亭に買い取っていただいた。料亭で乗鞍高原産わらびとして、メニューに加えていただいたことで、乗鞍高原をPRする絶好の機会となっている。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	奈川中学校	学校長名	青森 隆俊
所 在 地	〒390-1611 松本市奈川 2281 TEL:0263-79-2002	生徒児童数	7名
担当教諭名	荒井 和之		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
環境整備	6月13日・5名 10月1日・6名	地域公民館より、地域内の公共施設へのベンチ設置を進める「ベンチプロジェクト」への協力依頼があり、地域の木工職人を招き、木製ベンチの製作を行った。  製作したベンチは、地域の希望により診療所へ設置し、贈呈式を行った。
施設等訪問・交流	12月11日・7名	地域公民館主催の「福祉ひろば出張ふれあい健康教室」において交流を行った。 日ごろの音楽の学習の成果を発表し、参加者とともに歌を通じた交流ができた。  また、交流給食会を行い、参加者との会話を楽しみながら、和やかなお昼のひと時をすごすことができた。

令和 6 年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	梓川中学校	学校長名	河西 哲也
所在地	〒390-1702 松本市梓川梓 800-2 Tel 0263-78-2024 fax 0263-76-1055	生徒児童数	439 名
担当教諭名	原 朋絵		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
①障がい者施設 「梓荘」訪問・ 交流	・1回目 11月6日(水) ボランティア委員 12名 ・2回目 12月11日 (水) ボランティア委員 21名	・事前にボランティア正副委員長と顧問とで訪問・交流内容・実施時期について春に打ち合わせを行った。 ・当初、年3回訪問を予定していたが、施設と中学校内のコロナ感染症の時期が計画と重なったため、延期した。2学期以降に2回行い、参加人数もまとめることになった。 ・計画では文化祭前に交流ができ、その流れで交流がスムーズに進む予定だったが変更のため、調整に時間や苦勞を要した。 ・内容： クイズ⇒中学校生活に関する問題。 紙芝居読み聞かせ⇒「桃太郎」「舌切り雀」 ・1～3年生を縦割りでクイズと紙芝居班に分け、事前練習を行った。発表経験がない生徒も本番では嬉々として豊かな表情で発表することができた。健常者と暮らす場面が多い中学生が、障がい者の視点を少しではあるが取り入れて行動することで、多くの学びを得た。また、福祉についてだけでなく、司会技術や施設の方への挨拶や声掛け等も体験し、委員達本人の見識を広げる貴重な機会となった。感染症流行期や対策は要熟考。
②文化祭招待	・9月27日(金) ・ボランティア委員 31名 ・梓荘より3名のお客様	・文化祭の吹奏楽部の演奏に上記施設利用者を招待した。車椅子介助と誘導を行った。 ・吹奏楽部の演出の巧みさや素晴らしい演奏に施設利用者の方々が涙を流し、歓声を上げる場面があった。そして、それを見た委員や吹奏楽部員、他の生徒たちが、障がい者の方の心の機微に触れ、感激し、歓喜が連鎖する場面があった。短時間ながら大変貴重な時間となった。 ・中学へ来られる施設利用者の方に外出条件があり、制限はあるが、できる限り招待できると中学生にとって学びの多い機会になる。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	松本市立波田中学校	学校長名	三澤 豊
所在地	〒390-1401 松本市波田 10145-1 TEL 92-2034 FAX 92-3746	生徒数	433名
担当教諭名	小林 翔		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
収集活動 リサイクル	アルミ缶回収 9月13日～20日 全校生徒対象	 近隣の小学校でペットボトルキャップを収集し、波田中学校ではアルミ缶を収集し、お互いに送り合うことで福祉活動の輪が広がる活動を行うことができた。 今年度は100kgのペットボトルキャップを業者に持ち込むことができた。
福祉事業	書き損じはがき 使用済み切手収集 1月27日～ 2月7日 全校生徒	全校生徒の関心と協力を得て、書き損じはがきを約100枚、使用済み切手を約8000枚収集し、長野県視覚障がい者福祉協会に贈呈することができた。
平和への願い推進事業	千羽鶴作成と献呈 6月18日～28日 全校生徒対象	全校で千羽鶴を折って松本市の平和祈念式典に納めることができた。 今後の課題について ・収集活動は十分な成果を出せたが、規制緩和となっても福祉施設などとの交流事業ができないでいる。福祉交流委員会や特別支援学級を中心に小学校との交流などを広げ、地域に貢献できる活動を増やしていきたい。

令和6年度 社会福祉普及校事業報告書

	松本市山形村朝日村中学校組合立 鉢盛中学校	学校長名	中川満英	
所在地	〒390-1104 東筑摩郡朝日村大字古見 3332 の5 TEL:0263-99-2501 FAX:0263-99-2635		生徒数	376 名
担当教諭名	西沢 絵里佳			

活動事業	実施時期〔参加者数〕	活動内容・感想・今後の課題等
収集・リサイクル	通年 毎月第1木・金曜日朝 〔福祉環境委員を中心とした全校生徒376名〕 贈呈式は12月12日	《アルミ缶とペットボトル収集》 ・生徒会福祉環境委員会を中心として全校生徒が家庭から持ってきたアルミ缶とペットボトルをリサイクル業者に買い上げていただいた。 ・収益金は例年、地域の福祉施設に寄付して地域の福祉の向上に役立てていただくことになっており、今年度は朝日村の多機能型事業所「森のこびと」から北沢様にご来校いただき、生徒集会で贈呈式を行った。（今年度収益金は28,974円）
募金活動	11月20日～22日 〔全校生徒376名〕	《赤い羽根共同募金》 ・福祉環境委員が呼びかけ、募金を集めた。山形村社会福祉協議会田中様にご来校いただき、生徒集会で贈呈式を行った。（今年度寄付金は5,010円）

アルミ缶、ペットボトル回収の様子

本年度のアルミ缶、ペットボトル回収の様子です。福祉環境委員会の呼びかけにより、例年並の収益金を寄付することができました



赤い羽根共同募金 11月20日（水）～22日（金）

朝、福祉環境委員が昇降口で募金活動をしました。募金は地域の福利の向上につながることを全校に説明して、募金を呼びかけました。また、赤い羽根は福祉環境委員がしおりにして募金をしてくれた生徒に渡しました。



アルミ缶・ペットボトル回収収益金及び赤い羽根共同募金寄付金贈呈式 12月12日（木）

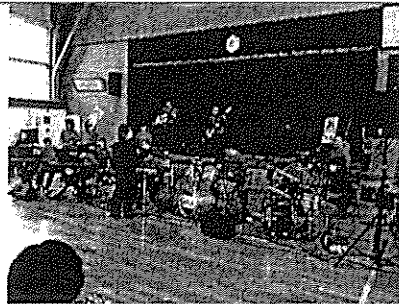
生徒集会において福祉環境委員会委員長より、朝日村「森のこびと」北沢様にはアルミ缶・ペットボトル回収の収益金、山形村社会福祉協議会田中様には赤い羽根共同募金の収益金を贈呈しました。また1名の福祉環境委員が、1年間の福祉活動で学んだことや協力してくれた全校生徒への感謝の気持ちを発表しました。



令和6年度社会福祉普及校活動報告書

学校名	長野県松本盲学校	学校長	小林 宏樹
所在地	〒390-0306 長野県松本市旭2-11-66 TEL32-1815 FAX36-9505	生徒数	23名
担当教諭	山岸良朗		
活動事業名	活動の様子	活動内容・感想・今後の課題	
1. 異学年交流 (幼稚部)		・幼稚部でおばけやしきを企画し、小学部や分教室の児童生徒を招待して交流を深めた。	
2. 提携校との交流 (小学部、中普部)	  	・小学部の児童が長野盲学校小学部を訪問し、紹介やゲーム、昼食会等で交流を行った。 ・小学部は提携校と年間を通じて交流を行った。相互の行事に参加しあったり、児童によっては提携校の授業に参加したりした。また、支援学級とは一緒に制作や交流会を行った。 ・中普部では、旭町中の福祉交流委員会約20名と、サウンドテーブルテニス交流を行った。ルール説明、ラリー、アイマスク体験などを、生徒の企画で行った。視覚障がいのあるスポーツについて知ってもらえる機会となり、お互いの距離を縮めることができた。 ・旭町中の空き缶集めを共同で行った。それぞれ回収したアルミ缶をあわせ、サウンドテーブルテニスのボールを購入して寄付していただいた。 ・旭町中文化祭の福祉交流委員会の発表では、盲学校についてのクイズを出題していただいた。また、本校の文化祭「水仙祭」では、福祉交流委員会の正副委員長に来校していただき、交流の様子を発表していただく機会を持った。 ・旭町中とは、日頃より交換ノートを使ってメッセージをやり取りした。	

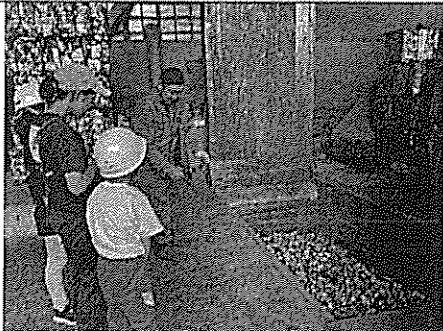
3.「人権教育講演会」(全校)



- ・人権教育講演会では、圏域の福祉事業所「ケ・セラ塾」の皆さんをお招きし、前半はコンサート、後半は事業所説明と質疑応答という内容で実施した。
- ・「一人ひとりが自分らしく輝いている姿」という、人権教育の目指す一つの姿が、利用者さんたちの生き生きと楽しそうに演奏する姿から伝わってきた。また、全校で音楽に合わせて気持ちを一つにすることもでき、とても有意義な講演会となった。
- ・参加者の多くからは、ぜひまたやってほしい、卒業生の将来の姿としてたくさんの勇気をいただいた、などの感想が出された。

令和6年度社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	長野県松本ろう学校	学校長名	丸山 勝己
所在地	〒399-0021 松本市大字寿豊丘 820 TEL 58-3094 FAX 85-1411	生徒児童数	幼稚部 6 名、小学部 7 名 中学部 6 名
担当教諭名	五味 重 栄		

活動事業名	実施期日 参加者数	活動内容・感想・今後の課題等	
収集・ リサイクル	通年 小学部 児童 7 名		アルミ缶の回収を全校に呼びかけ、集まったものを定期的に分別確認するとともに、計量・管理しました。関係工場の見学を兼ねて搬入・換金しました。換金したお金は、例年、児童会活動資金に充てたり、花を育てたりする活動資金としてきていましたが、話し合いの結果、能登半島の地震や大雨の被害への募金に充てることとしました。
施設等訪問・ 交流	6月4日 9月3日 6月21日 7月12日 11月22日 幼稚部 幼児 6 名	○内田保育園との交流 ○青い鳥幼稚園との交流 互いの園を行き来して交流を行いました。普段、少人数で生活をしていることもあり、当初は大人数での活動に戸惑う様子もありましたが、交流を進める中で徐々	 に慣れ、一緒に手をつないだり、ことばでやりとりしたりする姿が見られました。普段とは違った環境の中、交流を通してたくさんの友だちと関わる経験ができました。
施設等訪問・ 交流	①4/25 ②6/27, 9/12,9/27 ③9/18 ④11/28	○①寿台養護学校松ろうキャンパス、 ②明善中学校、③鎌田中学校、④長野ろう学校との交流を実施した。 同年代の仲間とかかわる貴重な時間を過ごすことがた。 ①: 自己紹介をしあい、友達を知るために聞いてみたいことを質問し合った。 ②: 第1回では、双方が事前に練習した手話歌をみんなで一緒に歌って交流した。 第2回では、明善中緑化委員会と協力し、互いに行き来できる畑の草取りやマリーゴールドの花摘みを行った(写真右上)。 第3回では、明善中文化祭に参加した。生徒会活動展示には交流の様子も入れていただいた。ステージ発表や展示見学を通して、同年代の友達がそれぞ	

れに様々な努力をしたり表現活動をしたりしていることを間近に感じ、興味深く見学した。



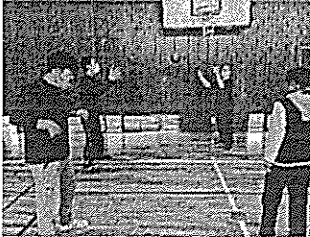
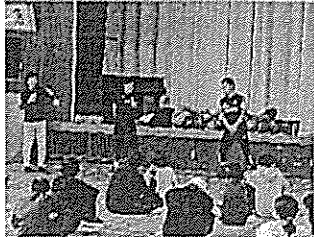
③：自己紹介（手話）や室内ゲームを行った。ゲームでは、自然な笑い声も起きていた。初めて出会った同年代の仲間ではあったが、障がいを感じることなくかわりを持つ優しい時間となった。（写真左）

④：オンラインにて交流した。絵しりとりでは、思いついたことを絵に表す、会話（音声）のない時間が流れる中で、「なるほど」「そうきたか」といった、相手の発想に感心する声が思わず

漏れていた。

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	長野県寿台養護学校	学 校 長 名	小松 恭子
所 在 地	〒399-0021 長野県松本市大字寿豊丘 811-88 TEL 0263-86-0046 FAX 0263-86-9276	生徒児童数	137 名
担当教諭名	今井 大輔		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
環境整備・交流	環境整備：6～10 月 毎週火曜日 交流：販売活動 (7 月 2. 3. 4 日) 高等部 37 名	○ファーマーズガーデンでの軽作業、販売活動 ・5 月から週 1 回ファーマーズガーデン内田で軽作業（箱折り・草取り）を行った。 ・店舗の方から感謝していただき、作業班の販売活動をさせていただいた。 ・来年度以降も同様の活動を行っていきたい。  
地域の方との交流	10 月 高等部 37 名	○松本山雅 FC との交流 ・松本山雅 FC の方とサッカーを通じて交流した。サッカーが苦手な生徒も好きな生徒も、みんなで楽しく活動することができた。  

令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	松本県ヶ丘高等学校	学 校 長 名	腰原 智達
所 在 地	〒390-8543 TEL 0263-32-1142 FAX 0263-37-1074	生徒児童数	25 名
担当教諭名	近藤 慎		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
子ども食堂 地域の子どもとの交流活動	5月3日、6月29日 11月9日 25名	子ども食堂 ・地域の子どもたちとの交流を図る目的で、子ども食堂を開催。 ・延べ200名以上の方が参加し、お菓子等を配布。 ・ヨーヨー、フリスビー、射的等を実施し、地域の子どもたちと交流した。 ・充実したボランティア活動となり、地域との交流を深められた。 ・子ども食堂の活動目的と意義を地域に広く知ってもらえるように工夫して活動していきたい。
大会ボランティア活動	11月4日 2名	全国視覚障害者卓球大会 大会運営ボランティア ・選手の誘導、試合中のボール拾い等、競技運営補助を行った。 ・全国大会の緊張感のある中で、大会運営に影響を与えないようにスムーズに行動できた。
募金活動	4月～ 25名	令和6年能登半島地震に向けた募金活動 ・全校生徒や保護者に向けて募金活動を実施。

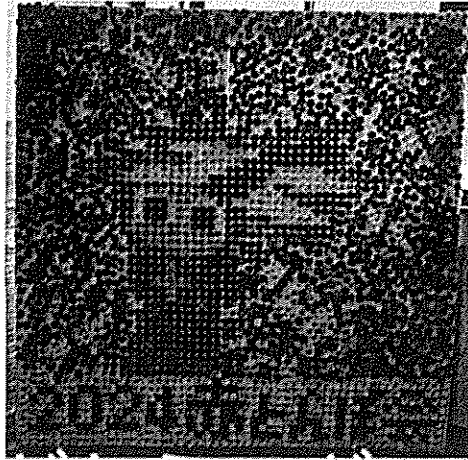
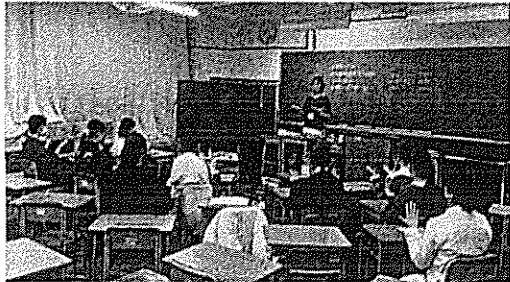
令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	エクセラン高等学校	学校長名	西沢 宏
所在地	〒390-0221 長野県松本市里山辺 4202 TEL 0263-32-3701 FAX 0236-35-9080	生徒数	335 名 (2月現在)
担当教諭名	宮澤 和加子		

活動事業名	実施期日 (参加者)	活動内容・感想・今後の課題等
1. 文化祭 	7月27日・28日 (福祉科15名)	①福祉用具の体験学習会 ・福祉科の学習発表の一環として、授業で学んだ福祉用具を在校生や来客者に紹介した。 ②障がい者就労施設の商品の委託販売 ・福祉科の実習でお世話になっている障がい者就労施設に依頼し、施設で作られた商品の委託販売を企画した。
2. 施設訪問・交流	6月21日 (福祉科5名)	松本養護学校交流会 ・各クラスに分かれてレクリエーションを一緒に行い、交流した。
3. 環境整備	9月25日/通年 (全校/ボランティア部16名)	校外清掃 ・地域貢献として、学校周辺の清掃を行った。
4. 収集・リサイクル	通年 (全校)	①ペットボトルキャップの収集 ・全校に呼びかけ、多くのキャップを収集することができた。 ・キャップを集める箱を工夫したり、ポスターを掲示したりして、全校にエコキャップ運動について知ってもらえるようにした。
	通年 (全校)	②プルタブの収集 ・全校生徒の協力もあり、たくさんのプルタブが集めることができた。
	通年 (全校)	③書き損じはがきの収集 ・全校で集めた書き損じはがきを長野県視覚障害者福祉協会に送った。

令和6年度 社会福祉普及校活動報告書

学 校 名	松本深志高等学校	学校長名	石川 裕之
所 在 地	〒390-8603 松本市蟻ヶ崎3-8-1 TEL 32-0003 FAX 37-1071	生徒数	19 人
担当教諭名	湯澤 未季枝		

活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
収集・リサイクル	6月～7月 7月5-8日(とんぼ祭) 	全校からペットボトルキャップを回収し、それを利用して文化祭でモザイクアートを作成しました。 放送やポスターなどによる全校への呼びかけにより予想以上の量のキャップが集まり 社会福祉協議会へ寄付しました(約 25.5kg)。 次年度も資源の回収を行う場合は、呼びかけ活動を強化したいと思います。
手話講習会	11月25日 	講師の先生をお呼びし、部内で手話について学びました。 読唇術という技術を体験したり、手話ソング「世界に一つだけの花」に挑戦しました。 同じ手の形でも、動かし方や向きによって大きく意味が変わると知り驚きました。 今後も部内で手話の勉強会を開いていこうと思います。

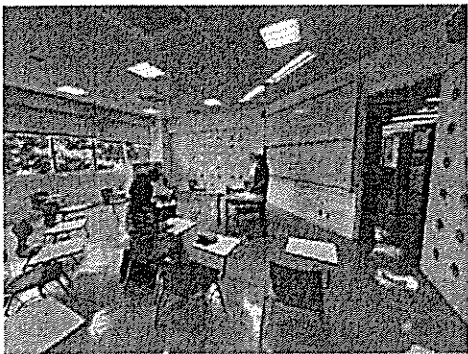
令和6年度 社会福祉普及校事業活動報告書

学 校 名	長野県松本美須々ヶ丘高等学校	学校長名	久保村 智
所 在 地	〒 390-8602 松本市美須々2番1号 TEL 33-3690 FAX 37-1076	生 徒 数	832 名
担当教諭名	犬飼健一		

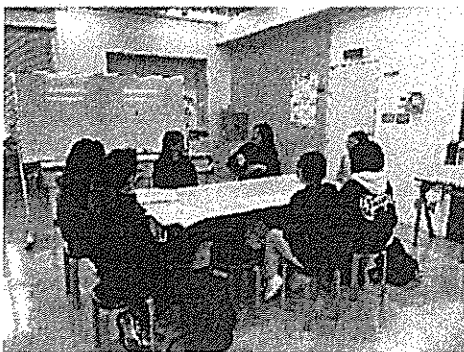
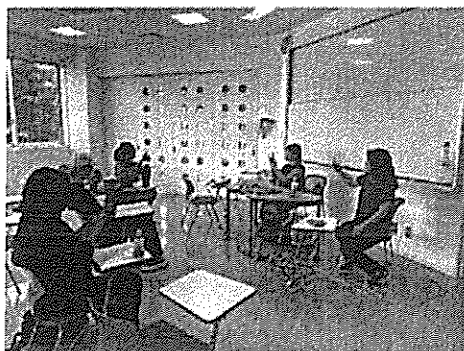
活動事業名	実施期日・参加者数	活動内容・感想・今後の課題等
花いっぱい運動	令和6年5月～10月 参加者:49人	地球温暖化防止の啓発活動として毎年実施しているサンパチェンスの栽培に加え、今年度は、校内の花壇に花やハーブの栽培も行いました。来年度以降も花壇を少しずつ増やし、全校生徒の意識がより高くなるよう取り組んでいきます。 

2024年度（令和6年度） 社会福祉普及校事業活動報告書

学校名	信濃むつみ高等学校	学校長名	水野 尚哉
所在地	〒390-0832 松本市南松本 1-13-26 TEL：0263-27-3700 FAX：0263-27-2870	生徒数	521 名
担当教諭名	佐々木 史恵		

活動事業名	実施期日・場所・参加者数	活動内容・感想・今後の課題など
<事業名> 手話ゼミ <趣旨> ゼミを通じて、体験的に手話をまなび、手話に必要な表情や体の動きを知る中でコミュニケーションの在り方についてとらえ直す。	ゼミ実施日・各回の参加者数 2024年 5月29日（3名） 7月8日（3名）（ゲストあり。） 10月17日（2名） 12月5日（6名）（ゲストあり。） 2025年 2月13日（4名） 計5回・延べ18名 主な活動場所：信濃むつみ高等学校 信濃むつみ高等学校 SpaceⅣ・スタジオにて <市や町、色の手話をまなぶ> 	基本的に各回 ・参加者2～6名程度 ・活動は1時間半～2時間 ・内容は講師の宇留賀さんからその日のテーマに沿った手話を体験的にまなぶ。 ・信濃むつみ高等学校のスペースにて、手話通訳をおこなっている宇留賀さんをお招きし、活動をおこないました。本年度は手話話者の相澤さんをゲストにお招きして実施することもありました。 ・宇留賀さん自作の資料をもとに、まなびを展開していき、まなびの中で浮かび上がるさまざまな疑問や問題点を参加者がお互いに議論しながら活動しました。 ・最初は手話について知ることからはじまりました。その後、指文字や挨拶を覚え、自己紹介ができるように練習を重ねました。

<ゲストの相澤さん>



・参加者がそれぞれ、自己紹介ができるようになると、各回の最初には参加者自身の挨拶と自己紹介から始まり、前回の復習を経て、新しいテーマにチャレンジしていきました。

・今年度は講師の宇留賀さんのお知り合いで手話話者の相澤さんにゲストとしてお越しいただき、実際の手話の会話速度などを体験しました。

・生徒たちは覚えた手話を使って相澤さんとコミュニケーションを取ろうと、何度もチャレンジしました。

・手話における表情の重要性にも気が付き、普段マスクをしている生徒もマスクを取って相手に表情が見えるように配慮する姿などもみられました。

